

石川県立金沢北陵高等学校

学校長 北島公之

1. 教育目標

- ①社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を身につけた創造性豊かな人間を育成する。
- ②生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせ、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成する。
- ③自己の進路への自覚を深め、判断力と実践力を備えた心豊かな人間を育成する。

2. 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ①キャリア教育の拠点校として、生徒一人ひとりがキャリア発達を実感できる学校をめざし、そのために教員個々の指導力向上および組織的指導体制の強化が求められる。
- ②キャリア教育を進める上で、その基盤となる基礎学力の定着、基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成に一層努めていく必要がある。
- ③活気と感動に満ちた学校の実現に力を注ぎ、授業の充実はもとより、学校行事、生徒会活動、部活動の活性化に取り組む必要がある。
- ④受検者の出身学校がやや局地的な傾向にあることから、広報活動地域を広げ、より広範囲の中学校関係者に通学の利便性の良さも含め本校の特色を理解し興味関心を持ってもらえるように努めていくことが求められる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①基礎学力の定着、基本的な生活習慣の確立、規範意識の高揚等、社会的・職業的自立に向け基盤となる能力と態度を育成する。
- ②主体的に学習する態度を養い、自らの能力・適性を見出し、進路実現の意欲と望ましい職業観を形成させる。
- ③活気と感動に満ちた学校生活を通じ、心豊かな人間を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方に関する中・長期的目標

- ①総合学科の教育理念に基づき、全教職員の意識改革を進め、一致協力した組織的・機動的な学校運営に努める。
- ②教科における専門性を高めるために自己研鑽を積むとともに、絶えず授業の工夫・改善を図り、生徒の学習意欲を向上させる。
- ③地域社会とのつながりを深め、保護者・地域住民から信頼され、期待される学校づくりを行う。
- ④常に業務の改善を進め効率化を図るとともに、教育の質の向上をめざす生き活きとした教職員集団となる。

3. 今年度の重点目標

- ①「時を守り、場を清め、礼を正す」をスローガンに掲げ、生徒が自ら実践できるようにねばり強く働きかける。
- ②朝学習の充実と授業改善を進め、基礎学力の定着とわかる喜びや学ぶ意義を実感できるように努める。
- ③自分を知り、社会を知り、将来の自分を考えることのできる生徒の育成に向け、キャリア教育の一層の推進を図る。
- ④学校の活性化を図るために、部活動の活性化を目指すとともに、学校の魅力を発信する取組を充実させる。
- ⑤働き方改革における教員の意識改革と行動改革を進めるとともに、業務の平準化に取り組む。

